

**3331
TRANS**

事業案内

2021年春、“3331 Arts Chiyoda”の、アートセンターとしての10年間に渡る活動蓄積をベースに、そのノウハウを集約させたクリエイティブチーム“3331 TRANS”が動き出します。

3331 Arts Chiyodaでは、現代アートのみならず、建築、デザイン、身体表現から広く歴史・文化に関わって、多種多様な展覧会・イベント・ワークショップなどのクロスオーバーな場づくりを行ってきました。その核には、アーティスト・イニシアティブを旗印とした、あらゆる人の「表現したい」気持ちに寄り添うマインドがあります。

世界が劇的に変化する中、それでもわたしたちは表現し続け、新しい課題を見出し、更なるチャレンジへと挑みます。これまでの専門知識や経験、人脈を最大限に生かしながら、幅広いプロジェクトを事業化していきます。アートコーディネーターや展覧会企画といった「アート」関連のみならず、3331 Arts Chiyodaが10年間をかけて築き上げてきた「コミュニティ」への関与、また「デザイン」や「教育」などの分野においても、活動を広げていきます。

それは様々な枠組みを超えて交わることによってこそ可能になるはずです。これから新たな事業を始める、これまでの活動のその先を探っている、何らかの転換を図ろうとしている、そんな方々の活動と“3331 TRANS”はコミットできればと考えます。

佐藤直樹 (3331 TRANS クリエイティブ・ディレクター)



アート関係者に限らず、企業・行政・個人の方まで、
芸術文化に携わる方の、様々なご相談をお受けいたします。

●事業内容

●ご相談内容サンプル

文化施策への コンサルティング・アドバイス	行政や企業が主体となって行う文化施策にアドバイスが必要
エリアマネジメント	地域住民と協働して、発信・交流拠点を作りたい
アートプロジェクト	地域の文化資源を再発見するようなアートプロジェクトの実施 (P7-8)
アートコミュニケーション	アーティスト発案のプログラムで取り組む地域・多世代間交流 (P5-6)
アートによる海外交流	アーティスト・イン・レジデンス、海外や地方のアーティスト招聘

展覧会企画制作	展覧会の発案から企画制作まで (P11-12)
コーディネーション	アーティストの選定・提案から展示施工・アフターケアまでのコーディネート (P9-10)
コミッションワーク	テーマや目的に沿った、アーティストによるオリジナルの作品制作
公募プログラム	公募型の美術プログラムを運営するノウハウ (P13-14)
企業コラボレーション	企業の技術や商材とアーティストの資質を掛け合わせたコラボレーション

グラフィック	様々な文化施策に付随する、デザイン・広報制作物
スペース	空間資源の活用に関するアートを取り入れたコンサルティングやリノベーション業務 (P17-18)
プロダクト	自社の商品デザインにアーティストの発想やアートを取り入れたい
映像制作	ドキュメンタリー・イメージ映像やアーカイブとしての記録映像など
動画配信	トークイベントやパフォーマンスなどの動画配信
ウェブ	展覧会やアートを活用したイベントの特設サイトのディレクション

ワークショップ	アートやクリエイティブに関連するワークショップ (P15)
レクチャー	3331 Arts Chiyodaの取り組みやアートについての講演など
スクーリング	コミュニティ、アート、デザインに関する教育プログラム
美術教育	絵画や造形など、実技・理論の指導 (P16)

コミュニティ

3331はアーティストから子どもまで多様な人が集い、文化的な活動を通して芽生える創造性を大切にしています。わたしたちが培ってきたノウハウを活かし、コミュニティの文化創造をサポートします。

アート

アーティストと共につくることはわたしたち3331の日常です。アートに敷居の高さを感じている方も、3331 TRANSが目的やご希望に沿ってアーティストやアート企画をコーディネートします。

デザイン

企画をより良いものにするためにクリエイティブの力は不可欠です。3331のクリエイティブチームが、みなさんの表現したい思いに寄り添ってカタチにしていきます。

教育

3331のスタッフをはじめ、アーティストやさまざまな分野の第一線で活躍する専門家など、人的ネットワークや専門知識、スキルを活かしたラーニングプログラムをご提供します。

TRANS
COMMUNITY

アートコミュニケーション

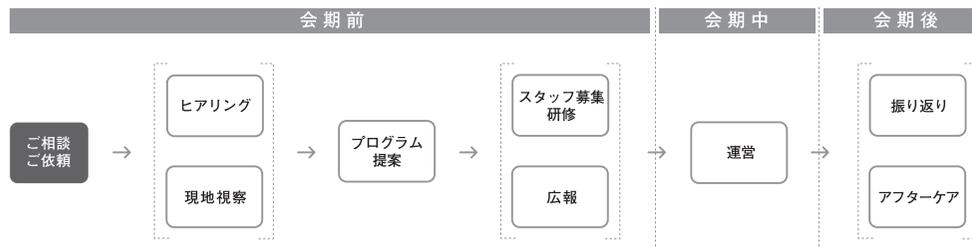
アーティスト発案のプログラムで取り組む 地域・多世代間交流

●こんな方に

アートのワークショップを通じて、多様な価値観を育成・共有し、多世代交流などを目的としたイベント、ワークショップを行いたい方。

●全体の流れ(イメージ)

市民参加で取り組む事ができるアートプログラムについて、幼児向け、高齢者向け、コミュニティ向け、学校向け、多世代交流、防災、福祉、創作など多彩な対象と目的に合わせた提案や地域ボランティアの研修などの実施行程をサポート。アートプログラムとして、いつもとは違う角度で交流や創作を楽しむことが可能。



●事例①：藤浩志による「かえっこ」

美術家・藤浩志氏による「かえっこ」プログラムは、家で遊ばなくなったおもちゃを持ち寄って、カエルポイントに換えて別のおもちゃと交換する事が出来るプログラムである。ポイントは、会場に設けられたワークショップへの参加でも取得することが出来るため、積極的な参加を促すことが出来る仕掛けだ。これまでに様々な地域・場所・規模で行われ、

かえっこ会場であればどこでも共通のカエルポイントが使えるため、活動への持続的参加を促せるのも特徴である。運営はボランティアでも実施できる内容なので、多くの市民参加を呼びかけて実施できる事も魅力となっている。

※過去には、市民祭、児童館・学童クラブプログラム、大規模イベント子ども向けコーナー、保育園お楽しみ会、商業施設イベントなどで開催



●事例②：日比野克彦による「明後日朝顔プロジェクト in 千代田」



朝顔の育成を通して人と人、人と地域、地域と地域をつなげるアートプロジェクト

●事例③：池田晶紀による特設写真館「いなせなロケーション」



“神田っ子”をモデルにポートレイトを撮影する池田晶紀氏が、特設写真館で来場者のポートレイトを撮影するパフォーマンス

●事例④：203gowによる多世代交流ワークショップ「編み東京で輝きエール」(福祉まつり/千代田区)



編み師203gow氏と共に編み物を通じて多世代間交流を促すワークショップ

アートプロジェクト

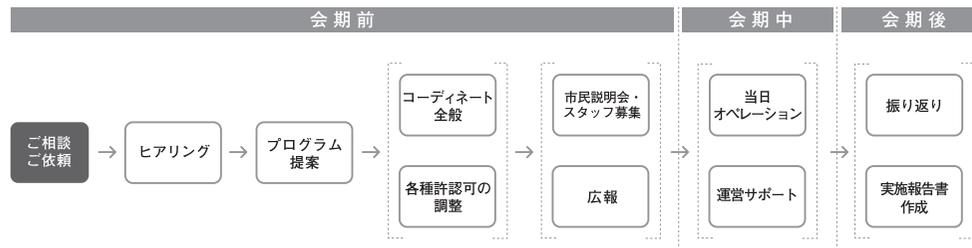
地域の文化資源を再発見するような
アートプロジェクトの実施

●こんな方に

アートプロジェクトによって、地域が培ってきた歴史や文化を含む「まちの創造力」を喚起し、地域の活性化とコミュニティ形成に取り組みたい方。

●全体の流れ(イメージ)

地域が抱える課題をヒアリングし、活用できる地域資源を活かしながら、アーティストの視点で提案されるアートプロジェクトとのマッチングとプログラム構築を行う。その取組が周囲へわかりやすく伝わるよう、メディア、展示、発表などの企画もサポート。



●事例①：事例紹介：TRANS ARTS TOKYO

再開発によって、街を構成する大きな存在であった大学校舎の移転が決まり、再開発の計画と同時進行で大学校舎を中心にした地域で5年間(2012~2017)に渡り展開したアートプロジェクト。この取組では、長年この地域に暮らしてきた住民や商店が、アーティストやアートプロジェクトの介在により、自分達の歴史やコミュニティ

を再発見し、大学移転後の地域への不安を払拭し未来へ前進させるものとなった。地域×デベロッパー×アートプロジェクト、それぞれの得意分野を掛け合わせることでプロジェクトが成立し、市民参加が実現された事が特徴的なケース。 photo credit: command N



パトリシア・ビッチーニ「Skyshale」旧東京電機大学 (2014)



旧東京電機大学地下 (2013)



アーバンキャンプトーキョーホテル 旧東京電機大学 (2014)

●事例②：わわプロジェクト



coconogaccoファッションショー 五十通り (2015)



復興リーダーの多様な活動を紹介するプロジェクト © command N

●事例③：「氷見上庄川 天馬船レース」プロジェクト



木造和船を模したミニ天馬船を浮かべ川の流れてまかせてレースを行うプロジェクト © アートNPOヒミング

●事例④：神田小川町 優美堂プロジェクト



富士山の看板が印象的な元額屋の地下1F~地上3Fの建物を再生するプロジェクト © Masato Nakamura

コーディネーション

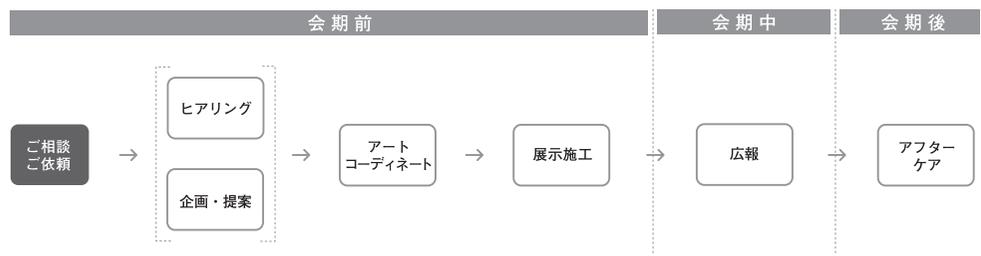
アーティストの選定・提案から
展示施工・アフターケアまでのコーディネート

●こんな方に

公共空間やオフィス、プライベート空間に、独自性を持った美術作品を展示したい方。どんな作家の作品を展示して良いかアドバイスをお求めの方。アートを活用して「場」のイメージアップを行いたい方。見慣れた風景をアートの力で変えたい方。

●全体の流れ(イメージ)

ご相談を元に、その場所の歴史性・文化・条件等のヒアリングを徹底的に行い、展示作家・作品の選定から作家調整、展示施工、販売、アフターケアまでを一括して行う丁寧なアートコーディネーションを提案。



●事例：様々なアートコーディネーション

クライアントの要望や地域性・各種条件を徹底的にヒアリングし意見交換を行いながら、「人(企業)」「場所」「環境」との化学反応で成立する、唯一無二のアートをコーディネートする。展示する場所の歴史性・文化を読み解き、その場所だけに存在する世界にひとつだけの作品をアーティストに制作してもらうことも可能(コミッションワーク

制作)。3331の全国に広がるアーティストネットワークを駆使し、絵画・写真・立体・彫刻・インスタレーションなど幅広い形態から作品を提案。公共空間やオフィス、プライベート空間などの一般的な場所から、屋内・屋外問わず思いもつかない意外な場所まで、アートの力で空間を変容させ、新たな価値と気づきをもたらします。



佐々木耕成 作品/再現壁画「PAINTING WALL」



井田大介「Photo Sculpture (The gates of hell)」
NOHGA HOTEL UENO エントランス (2018)



Hogalee「Landmark Art Girl」神田小川町宝ビル (2020) ©Tokyo Biennale



大塚博子「壁画修復ワークショップ」旧東京電機大学跡地周辺の仮囲い (2017)
© command N



池田晶紀「Portrait Project 2012-2018 いなせな東京」
サテライト展示/ワテラスコモン会場 (2018) © command N



岩崎貴宏「アウト・オブ・ディスオーダー (白山脈)」
3331 アートダクト (2011)



HEARTBEAT-PORTRAITS in Chiyoda (2010)

展覧会企画制作

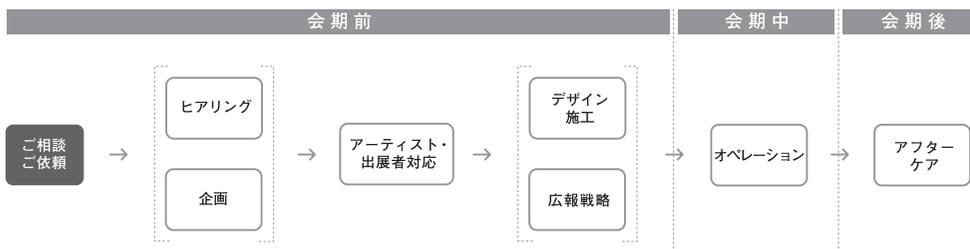
展覧会の発案から企画制作まで

●こんな方に

規模を問わず、独自性を持った美術展を開催したい方。展覧会やアートイベントを行いたいが方法がわからない方。既存の企画、進行中の案件に対してコンサルティングをお求めの方。

●全体の流れ(イメージ)

展示テーマ、イベントの内容、規模、予算感を含めたヒアリングを行い、企画段階から3331のスタッフが入りナレッジを提供。美術関係者との橋渡しから、作家・ギャラリーとの各種調整、作品輸送・保険対応、デザイン制作、展示施工ほか、制作に関わる全ての企画、調整、運営を行う。作品販売対応も可能。



●事例：3331 ART FAIR

2013年から始まり独自の進化を遂げてきた3331 ART FAIR。オルタナティブで新しいフェアを作るべく、コレクター100名に購入目的でフェアに参加していただき、成約した作品に賞が与えられる画期的なシステム「コレクタープライズ」を考案。作品購入が直接的な支援になるというコンセプトで、若手を中心にアーティストの活動を

をバックアップしている。2018年からは規模を拡大し、屋上から地下、共有部に至るまで3331全館が現代アート一色に。旧中学校の校舎を舞台に「観る」「買う」「参加する」楽しみが随所に散りばめられた、全ての人に開かれたアートフェアを作り続けている。



屋上での作品展示



体育館でのブース展示

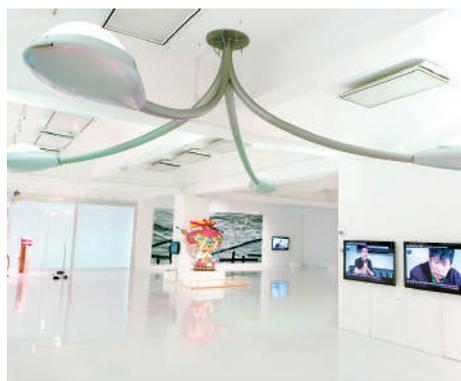
●その他展覧会事例



佐藤直樹個展「秘境の東京、そこで生えている」(2017)



佐々木耕成展「全肯定/OK, PERFECT, YES.」(2010)



DOMMUNE UNIVERSITY OF THE ARTS (2014)



八谷和彦個展「OpenSky 3.0」(2013)

公募プログラム

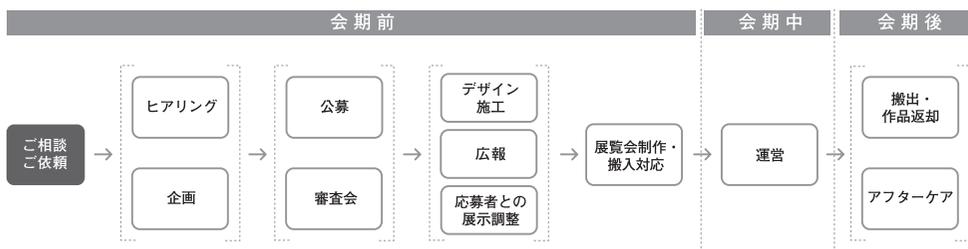
公募型の美術プログラムを運営するノーハウ

●こんな方に

公募型の美術展を開催したいが、どのように企画・実行して良いかわからない方。主催者と協業しながら、公募事業を運営するパートナーを探している方。

●全体の流れ(イメージ)

作品や企画の公募から公募展の運営まで、フルパッケージで行う。全国の幅広い作家に対する応募の呼びかけから、作家や応募者との調整などを行う事務局を運営。同時に、作品の搬入出・管理・展示・施工、デザイン、ウェブ、イベント企画、広報、審査員選定・審査会運営ほか、公募事業に関わる全ての制作を行う。



●事例①: ポコラート

「ポコラート全国公募」は、障害の有無・年齢・経験を問わず自由な表現の場を生み出すべくスタートした公募事業。作者や作者を支援する人々の声を受け取り、表現・発表・評価環境の改善に取り組んでいる。老若男女問わず幅広く応募を呼びかけ、日本全国から毎年約1000点以上もの作品が寄せられ、審査会の運営を通じて作品を選抜。入選作品による展覧会の

制作・運営、アフターケアまで、年間を通じて実施している。身体や音を使った表現や、ワークショップなどの「形にならない表現」も公募の対象として取り入れ、来場者も体験・参加できる企画として展覧会に組み込む。「人と人」、「人と作品」が出会う「核心」の場を創出し、まだ出会った事のない、多くの可能性に満ちた表現と、作品の存在価値を社会に問い直している。



審査員審査風景



公募展イベント

●事例②: 3331 千代田芸術祭



福住廉(美術批評家)、藤原えみり(美術ジャーナリスト)による「千代田芸術祭 2014」講評会



マーケット部門「三三三市」



音部門「LIFE LIKE LIVE」



パフォーマンス部門「おどりの場」

ワークショップ

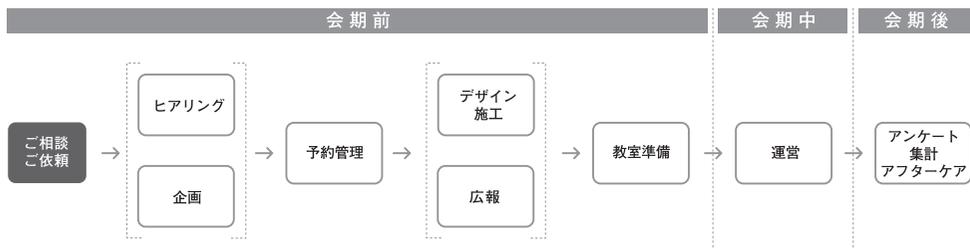
アートやクリエイティブに関連するワークショップ

●こんな方に

アートや表現活動を軸にしたワークショップを実施したいが、企画内容を検討中の方。マンネリ化した企画に新しい風を入れたい方。イベント制作パートナーを探している方。

●全体の流れ(イメージ)

プログラムを企画し、講師を選定・交渉。講師とともに講座内容を検討し、実施日程を調整。各種広報物・会場サイン類のデザインから、予約ページの作成・管理、問い合わせ対応も行う。素材・画材、教材等の事前準備、当日運営から記録撮影、アンケート集計、各種データ管理まで一気通貫で行う。



●事例：3331子ども芸術学校

幅広い芸術・表現活動を通して、子どもたちの「主体性」「多様な価値観」「創造性」を育むキッズ&ティーンのための本格的なワークショップ・プログラム。夏休みなど学校の長期休暇にあわせて実施し、これからの社会で必要とされる柔軟な思考や創造力をじっくりと養う特別な体験を創出する。講師には、アーティストや各分野の

専門家を迎え、水彩画や木工、油絵、銅版画、アナログ写真から和菓子づくりやドローン・プログラミング、保護者も一緒に楽しめる教室まで多彩なラインナップで子どもたちの意欲や想像力を引き出していく。



「夏の3331子ども芸術学校 presents みる・描く・あそぶ！サマーアートラボ」(2020)



村上慧による一緒につくって、過ごす家づくり教室



ドローン・プログラミング



栗原良彰による油絵教室

美術教育

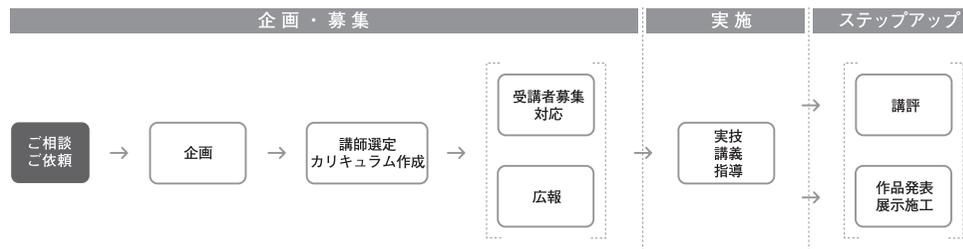
絵画や造形など、実技・理論の指導

●こんな方に

教育普及や文化活動、CSRを担当している企業・行政の方。企画パートナーを探している方。実践的なアート制作の実技と理論を受講したい一般の方。

●全体の流れ(イメージ)

創作を目的とした実技・講座・ワークショップ開催のための企画制作から、講師選定、カリキュラム制作、受講者募集のための広報、受講者対応など、講座に関わる全ての運営を行い、作品発表のための展示・施工も行う。



●事例：3331絵画教室

基礎や応用といった絵を描くための技術だけでなく、自分の視点や興味に気づくことを重視した指導を実施。少人数制のメリットを活かし、受講生一人一人とじっくり話をしながら、それぞれの表現を磨いていく。講師の指示や視点を再現するのではなく、「こうありたい」「描きたい」と思うものを自ら発見し表現するプロセスを丁寧にサポート。

ものをつくる楽しさはもちろん、自分の個性・特性に自信を持つことなどアートの魅力や奥深さに触れながら、視野と思考を広げ物事を観察する力を養っていく。絵筆を持つのがはじめての方から、「アートは好きだけど、制作はハードルが高い」と感じている方、作品発表を目指したい方までそれぞれの目的・目標に合わせて実施している。



佐々木浩一による絵画教室の様子



作品展示風景

スペース

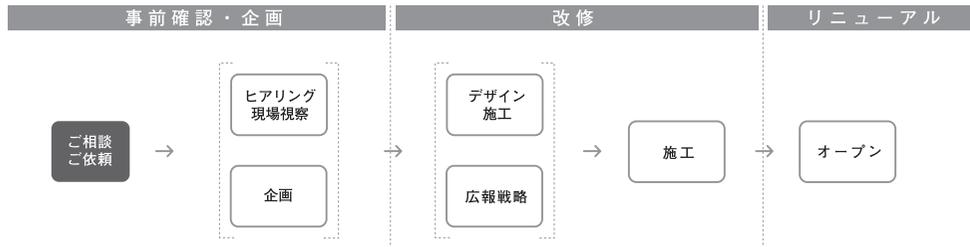
空間資源の活用に関するアートを取り入れたコンサルティングやリノベーション業務

●こんな方に

規模を問わず、空き物件などの遊休空間、廃校などを使って、3331のようにスペース活用を行いたい方。リノベーションの設計、サイン計画などのデザインをお願いしたい方。

●全体の流れ(イメージ)

クライアントが求めるスペース活用への要望をヒアリングし、現スペースの有効活用方法から課題解決としての運用方針、リノベーション、スペースのサイン計画等をご提案。施工内容により自社対応から建築チームとの協働による施設改修まで対応可能。



●事例①: 3331 Arts Chiyoda 旧校舎リノベーション

千代田区文化芸術プランの重点プロジェクト「ちよだアートスクエア」運営事業者公募により、合同会社コマンドAが選出され、3331 Arts Chiyodaを整備・設置する。アートセンターとしてのグランドデザイン、また区の意向としての施設機能、展覧会やワークショップなどの文化芸術事業、テナント・レンタルスペース事業等、将来的にどのように

スペースを利用し、どのような方々に利用していただくかを想定しプログラム開発を行いながら、旧千代田区立練成中学校のリノベーション設計を行った。館内のサインについては、利用者の動向を見ながら適宜アップデートおよびバージョンアップを行ってきている。



Before



After



Before



After



館内サイン



●事例②: 岩本町レジデンス



Before



After



Before



After

●事例③: プロジェクトスペースKANDADA



Before



After

© command N

お問い合わせ

プロジェクトのご相談など、
まずはメールにてお問い合わせください。

 trans@3331.jp

 www.3331.jp